



【令和2年度学校評価アンケート集計と分析】

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今年度は年度当初に作成した「グランドデザイン」の達成状況を、児童・保護者・教員それぞれがどのように評価しているかを確認し、次年度の教育活動にフィードバックさせるためにアンケート項目を昨年度までと変更して作成しました。アンケートの集計と分析を行いましたのでお伝えします。

なお、本分析に当たり、質問内容に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的評価とし、90%超の場合、「グランドデザイン」でお示ししたことが概ね達成できたと考えました。また、「どちらかというともう思わない」「まったくもう思わない」を否定的評価とし、10%超を次年度の課題と考えました。

○「学校」(肯定的評価—児童：95% 保護者：94% 教員：97%)

自己存在感や自己肯定感の獲得を支援することを通して、「この仲間だから分かった・成長できた」と感じられる学習・生活の場として、魅力ある学校づくりを目指しています。昨年度も三者とも高い評価でしたが、今年度はさらに児童の評価が昨年度比11%高まりました。今後も、児童一人一人を大切に学級・学年経営をし、仲間（絆）づくりを応援していきます。

●「授業」(肯定的評価—児童：85% 保護者：90% 教員：97% 否定的評価—児童：15%)

昨年度から、課題解決的な学習過程と学びのユニバーサルデザイン化を柱にして、「分かるうれしさ」「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりに取り組んでいます。

昨年度に比べ、保護者、教員はそれぞれ10%ほど評価が高まりましたが、児童はほぼ変わらず、さらに肯定的評価は児童85%と教員97%で12%もの開きがありました。特に児童において否定的評価が15%であったことを心配しています。課題解決的な学習過程による「学ぶ楽しさ」を実感できるよう、児童が学習内容に対して切実感を強くもち、意欲的に追究を進めたい単元を構築し、魅力ある授業実践を積み重ねていくことで、「授業が楽しい」「授業がよく分かる」児童が増えるよう支援していきます。



【 あなたはどう思う？ 】

▲「家庭学習」(肯定的評価—児童：83% 保護者：85% 教員：90% 否定的評価—児童：17% 保護者：15%)

肯定的評価は三者において90%に届きませんでした。反対に、否定的評価は児童と保護者において10%超となっています。児童が帰宅後、家庭等で一定時間机に向かう習慣をつけることは大切だと考えます。ただ、児童の帰宅後の生活環境や学習習熟度は様々であることから、家庭学習の在り方について今後も学校全体で検討し、学年単位でも発達段階に応じて進めていきます。

▲「あいさつ」(肯定的評価—児童：79% 保護者：89% 教員：87% 否定的評価—児童：21%)

三者とも、肯定的評価は90%に届かず、特に否定的評価は児童において20%超となりました。登校時でのあいさつの少なさが立番や地域の方からよく寄せられるところです。挨拶は、よりよき人間関係の基本です。今後、あいさつのよさを子どもたちが実感できる手だてをさらに見直し、改善していく必要を感じています。また、あいさつは学校だけで行うものではありません。家庭、地域でも引き続き声をかけていただければ幸いです。

●「命・人権」（肯定的評価—児童：91% 保護者：89% 教員：94% 否定的評価—保護者：11%）

保護者向けの質問内容は、「学校の「いじめ防止対策基本方針」の内容は子どもが安心して過ごすために有効だと思いますか」です。①「いじめ防止対策基本方針」を周知徹底できていなかった ②「いじめ防止対策基本方針」の内容が不十分だという評価をいただいた ③児童や教員向けの質問内容と乖離してしまった 等のことが、保護者のみ肯定的な評価が90%に届かなかった原因だと考えています。いじめは未然防止が原則ですが、起こった際の担任等による早期認知と学校としての組織的対応が肝要です。「いじめ防止対策基本方針」では、この点が十分に明記できてなかったので次年度の改訂版に反映していきます。裏面に集計結果等を記載しました。

●「体力づくり」（肯定的評価—児童：85% 保護者：90% 教員：90% 否定的評価—児童：15%）

児童の否定的評価が10%超となりました。外遊びについては例年、推奨していますが、放課時間確保、熱中症対策等、課題は山積しています。また、今年度は新型コロナウイルスの感染予防のこともあり、運動や遊び方に制限が加わったこともあります。これらの問題の改善を図りながら、運動や体力づくりの大切さや外遊びの楽しさを実感できるような環境整備に努めていきます。

○「絆づくり」（肯定的評価—児童：95% 保護者：92% 教員：93%）

昨年度とほぼ同等で、三者とも高い評価となりました。「お互いに認め合える友達の存在」は「登校への意欲」とも大きくかわりがあり、豊かな学校生活の中核をなす要素です。今後もいっそう仲間（絆）作りを大切にしたい学校・学年・学級経営をしていきます。

○「防犯・防災」（肯定的評価—児童：96% 保護者：95% 教員：94%）

「知識としての防災・防犯教育」から「考え、行動する防災・防犯教育」を意識して防犯・防災教室と問題解決型避難訓練をセットにして実施しました。防犯教室では、各教室で「自分の教室に不審者が入ってきたらどうしたらよいか」を考えたり、防災教室では、大地震等による被害状況をイメージしたりしながら、自分の身を守るための行動について考える機会を設けました。



今後も、自分の判断が自分の命を守り切れるか否かの分かれ目になることを意識できるよう、問題解決型の学びを展開していきます。

【問題解決型防災訓練】

○「新型コロナウイルス対応」（肯定的評価—児童：90% 保護者：94% 教員：94%）

感染予防については、国、県、市からの指示に従い、学校生活でのあらゆる場面で、児童、教員に周知徹底しておりますが、学習、生活面での影響は大きく、児童にも不便をかけています。引き続き、ご家庭でも感染予防にご留意ください。

○ 保護者・地域との連携（肯定的評価—保護者：92% 教員：94%）

保護者との連携については、児童の健やかな成長を目指して適切に行うように配慮しています。また、PTAの活動内容や、幹事の選出方法を新たなものにしたりと、それに伴い、子供会とも連携したりしています。半面、地域との連携については、コロナ禍の中、例年行っていたものの大部分が中止となってしまいました。また、社会全体、並びに学区も日々、変化しています。「新しい時代に即した地域との連携」を今後模索していきたいと思っております。

○ 情報発信（肯定的評価—保護者：94%）

学校便りと学年だよりを合併して発行するようにして、児童支援に教員のエネルギーを注げるように図りました。必要なところは改善しながら、今後も適切に情報発信を行ってまいります。